

工事監督能力基準 レベル1

見習い監督者
経験年数目安 1年 ～ 2年程度

【知識】

建設業の知識	
①建設業全般	建設業の社会的役割等を知っているか。
②建設業法	建設業許可などの建設業法の基本を知っているか。
③工事概要	建設工事及び定検工事の概要を知っているか。 工事フローをきちんと把握しているか。
用語・ルール・現場作業	現場ルールを理解しているか。 作業に必要な用語・名称・用途を理解しているか。 作業の進め方を理解しようと努めているか。 先輩の仕事を見て作業方法を覚えようと努めているか。 現場の安全用語を理解しているか。

【社会性及び適正】

社会的責任とコンプライアンス	監督者としての社会的責任について理解しているか。 現場の就業規則や工事関連の諸ルールを理解しているか。 過去に発生した事故・事件事業を理解し、その事業に直面した場合、上司に相談できるか。
現場マナーとコミュニケーション	朝礼、昼礼、終礼、会議等、積極的に参加出来ているか。 現場関係者等に挨拶が出来、先輩等の問い掛けにもハキハキ答えられる。 常に休調に気を配り、作業環境に対応出来る体力・気力が維持出来る。
チームワーク	共同作業の大切さを認識し、一緒に働くことに積極的に行動できているか。 仕事に関心を持ち、先輩の仕事を見てチームに溶け込んでいるか。 始業時間、休憩時間を守れているか。
環境保全への取組	現場の環境保全の取り組みを理解しているか。 近隣に対して、騒音・粉じん・振動等の影響が無い様配慮しているか。

【施工図】

施工図面・材料数量払い出し	施工図面の内容を理解出来ているか。 施工図面の用語、組み立て方について理解出来ているか。
---------------	---

【安全管理】

安全衛生作業法	作業手順の指導を受けて、指示された配置に従って作業出来る。 上長指導及び教育に従い、作業結果について報告・連絡・相談出来る。 上長が指示する有害・危険物の対策に従い、作業が出来ているか。 災害・異常時は、上長・先輩の報告し、指示通り行動出来ているか。 指示に従っての作業に係る設備及び作業管理の保守が出来ているか。 労働衛生防止について、積極的に理解・行動出来ているか。 指導された安全衛生作業が出来ているか。 安全施工サイクルに従って、作業が出来ているか。 作業が安全衛生法通りの行われている事を理解出来ているか。 T B M・K Yに積極的に参加・発言出来ているか。
---------	--

【現場管理】

品質管理	指示により材料の品質基準に従い、正しく区別出来ているか。
工程管理	当日分の作業の役割・進捗を理解出来ているか。
原価管理	

【段取りと作業管理】

入講前準備	指示を受け、必要書類、検診受診の準備が出来ているか。 作業現場住所、上長名等、確認が取れているか。
作業手順の確認	自分の作業役割を確認し、作業手順に努めているか。
現場状況確認	作業エリア、資材置場等の確認は出来ているか。
資材・器具・工具の確認と管理	作業に必要な器具等の準備は出来ているか。 工具等が決められた場所に保管管理されているか確認が出来ているか。 電動工具の点検表、管理票の準備は出来ているか。

各現場では、派遣先での入所教育等がある。（現場によって異なります）

【施工管理者に必要な資格一例】

- ◎玉掛特別教育（1 t 未満） ◎高所作業車特別教育（10m未満）
- ◎足場組立作業従事者教育 ◎フォークリフト特別教育（1 t 未満）
- ◎移動式クレーン特別教育（1 t 未満） ◎クレーン特別教育（5 t 未満）
- ◎研削・いし取扱特別教育 ◎低圧電気取扱講習

*その他、施工管理に必要な資格を取得

工事監督能力基準 レベル2

中堅監督者
経験年数目安 3年 ～ 9年程度

【知識】

建設業の知識	
①建設業全般	建設業の社会的役割等を知っているか。
②建設業法	建設業法で必要な現場技術者を理解している。
	建設業法に基づく請負契約の知識がある。
③工事概要	建設・定検工事を構成する工事概要を理解している。
	建設・定検工事の流れを理解している。
用語・ルール・現場作業	職長の指示に従って仕事が進められる。
	作業に必要な用語・名称・用途を理解し、若年者に指導できる。
	作業工程に従って仕事を進められる。
	作業所内の仲間とコミュニケーションが取れる。

【社会性及び適正】

社会的責任とコンプライアンス	現場監督者としてプロ意識や責任感を持って仕事ができる。
	会社の事業、顧客及び利害関係者との関係を理解して仕事ができる。
	作業現場のルール等を厳守し、仕事ができる。
現場マナーとコミュニケーション	現場の整理整頓、作業エリアの清掃を積極的に行える。
	報告・連絡・相談の大切さを理解し、日々上長に報告出来る。
	後輩からの作業に関する質問に、理解している範囲で説明出来る。
チームワーク	後輩や同僚との雑談に加わり、チームワークに配慮出来る。
	作業で気付いた点や知識・コツをアドバイスし、チームに溶け込めるよう配慮出来る。
	作業に不慣れな後輩に、見本をやって見せる配慮出来る。
環境保全への取組	現場の環境問題への取組を理解し、指示された内容を実施出来る。

【施工図】

施工図面・材料数量払い出し	施工図を理解し、作業を進める事が出来る。
	施工図の理解し、材料に拾い出しが出来る。

【安全管理】

安全衛生作業法	作業内容を確認し、配置の役割を理解して自分の能力を発揮出来る。
	労働災害防止について関心を持ち、創意工夫を心掛けている。
	作業状況、工程を把握し、一員として安全施工サイクルに沿った行動出来る。
	安全衛生作業に対する心構えが出来る。
	異常時・災害発生時に上長に報告し、措置方法に従い行動出来る。
	上長の指示する危険性・有害性の対策内容を理解して作業出来る。
	作業エリアの設備・環境状況を上長に報告し、指示に従い保守管理出来る。
	監督者として安全法関係・現場ルールを理解して作業出来る。

【現場管理】

品質管理	元請・下請役割分担を理解し、施工品質維持して作業が出来る。
工程管理	週間・月間の作業工程から毎日の作業目標の認識できる。
原価管理	

【段取りと作業管理】

入請前準備	材料に手配・段取り等を行い、上長に報告出来る。
作業手順の確認	工程表から作業の流れを想定し、班編成を行い、役割・責任分担が出来る。
現場状況確認	他社・他職種との作業工程等を構成し、上長に報告出来る。
	事前に作業エリアを確認し、工事に当って問題ないか確認出来る。
資材・器具・工具の確認と管理	工事工具の点検及び必要工具の準備が出来る。
	材料管理について、品質を損なわない方法で管理出来る。

各現場では、派遣先での入所教育等がある。（現場によって異なります）

【施工管理者に必要な資格一例】

- ◎ 玉掛特別教育（1t以上） ◎ 高所作業車特別教育（10m以上）
- ◎ 足場組立作業主任者 ◎ フォークリフト特別教育（1t以上）
- ◎ 移動式クレーン特別教育（1t以上） ◎ クレーン特別教育（5t以上）
- ◎ 職長・安全衛生責任者教育 ◎ 有機溶剤作業主任者
- ◎ 酸欠・乏危険作業主任者 ◎ 防火管理講習
- ◎ アーク溶接 ◎ ガス溶接

*その他、施工管理に必要な資格を取得

工事監督能力基準 レベル3

熟練監督者
経験年数目安 10年 ～ 14年程度

【知識】

建設業の知識	
①建設業全般	建設業界の社会的役割の説明が出来る。 建設業界の社会問題を理解している。
②建設業法	建築法を理解し、コンプライアンスに基づき作業を行わせている。
③工事概要	専門業者と他業種の関係を理解し指示できる。
用語・ルール・現場作業	業者に仕事の進め方を正確に指示出来る。 建設・定検工事における用語・用途を理解して指示出来る。 元請と作業調整・工程管理について打合せが出来る。 業者との連絡関係が取れ、工程調整等が出来る。

【社会性及び適正】

社会的責任とコンプライアンス	企業の社会的立場を理解し、知識や自覚を部下に指導出来る。 現場の規則やルールを業者及び部下に指導出来る。 現場で不測の事態が発生した場合、適切な問題解決が出来る。
現場マナーとコミュニケーション	現場環境を常に把握し、お客・元請に報告・説明が出来る。 現場内の業者間、部下、同僚と普段から気を使うことが出来る。
チームワーク	作業者同士が協力し合って、良好な関係を保つよう指導出来る。 業務や作業が円滑に進むようアドバイス出来る。
環境保全への取組	騒音、粉じん、振動等の影響が出ないよう対策が出来る。

【施工図】

施工図面・材料数量払い出し	施工図を理解し、現場でお客・元請と打合せが出来る。 施工図を見て、業者、部下に作業指示が出来る。
---------------	---

【安全管理】

安全衛生作業法	作業手順を定めて指示し、作業者の能力に応じた配置が出来る。 作業員の能力に応じた指導を行い、その作業結果について確認出来る。 現場の危険性・有害性を調査し、作業前に検討して作業員に指示出来る。 異常・災害が発生した場合、お客と連絡が出来、作業員に指示出来る。 作業エリアの環境を把握し、作業員に適切な管理を指示出来る。 労働災害について、作業員、部下の創意工夫を引き出す事が出来る。 監督者として安全法を理解し、作業員に指示出来る。 監督者として業者、部下に安全法について説明出来る。 監督者として、お客・元請と安全施工サイクルについて打合せが出来る。
---------	--

【現場管理】

品質管理	品質管理を維持出来る様徹底し、ルール従い管理が出来る。
工程管理	施工計画に基づき、週間、月間工程を作成出来る。
原価管理	現場での無駄な材料・工具の購入を見極める事が出来る。

【段取りと作業管理】

入請前準備	作業計画を基に、送出し教育が出来る。
作業手順の確認	作業の流れの整合性を確認し、効率化を図るための指示が出来る。
現場状況確認	現場での不具合・不適合を指摘し、対策案を指導出来る。
資材・器具・工具の確認と管理	業者の持ち込み工具を確認し、不必要な物は持ち込まない指導が出来る。 材料管理について、品質を損なわない対策を指導出来る。

各現場では、派遣先での入所教育等がある。(現場によって異なります)

【施工管理者に必要な資格一例】

- ◎ 2級土木施工管理技士
- ◎ 2級管工事施工管理技士
- ◎ 第二種安全衛生管理者
- ◎ 2級建築施工管理技士
- ◎ C A Dオペレーター2級
- ◎ 第二種電気工事士
- ◎ 二級ボイラー技士

*その他、施工管理に必要な資格を取得

工事監督能力基準 レベル4

上級監督者
経験年数目安 15年以上

【知識】

建設業の知識	
①建設業全般	今現在の建設業に関する社会問題を理解し、部下に説明出来る。
②建設業法	建設業法令遵守ガイドラインを理解している。
③工事概要	
用語・ルール・現場作業	お客、元請現場ルールを理解し、業者に周知徹底させることが出来る。
	施工図を基に、元請に対し工事の立案、作業計画が出来る。

【社会性及び適正】

社会的責任とコンプライアンス	現場全体を把握し、不適合が有れば対策・指導が出来る。
現場マナーとコミュニケーション	工事完了後も元請担当者との意思疎通を図り、コミュニケーションが取れる。
	普段から、業者、部下、同僚とマナーよく挨拶が出来る。
チームワーク	監督として、現場や社外を問わず人を引き付けることが出来る。
	業者、部下に対して、タイミングよく改善アドバイスが出来る。
環境保全への取組	現場全体の環境問題に取組、元請と一緒に実施出来る。

【施工図】

施工図面・材料数量払い出し	施工図を整合性を確認し、元請と協議出来る。
	施工図の見方、材料の拾いだしを指導出来る。

【安全管理】

安全衛生作業法	元請と作業内容を協議し、現場の状況に応じた適正配置が出来る。
	現場の危険性・有害性箇所の対策、提案が出来る。
	異常時、災害時には、元請担当と措置方法の提案、指示が出来る。
	作業エリアの設備・環境保守を元請と検討、実施が出来る。
	安衛法に係る事項を指導、説明出来る。

【現場管理】

品質管理	品質管理責任者の補佐が出来る。
	元請担当者と協力し、業者に品質保証維持を指示出来る。
工程管理	元請担当者、業者間との調整を行い、工程管理が出来る。
	常に工程会議に出席し、全体工程を把握している。
原価管理	原価管理能力があり、元請に経費削減案を提示出来る。

【段取りと作業管理】

入隅前準備	乗込み前に、元請担当者と協議を行い、要領書作成が出来る
	工程表を基に、元請、業者間との工程調整が出来る。
作業手順の確認	工事仕様書を基に、業者に施工分担の振分けが出来る。
現場状況確認	工程遅延が発生した場合、元請、業者と調整を行い、対策措置出来る。
資材・器具・工具の確認と管理	元請と調整を行い、作業エリアの確保が出来る。
	作業エリアの確保が出来たら、業者にエリアの適正管理を指示出来る。

各現場では、派遣先での入所教育等がある。（現場によって異なります）

【施工管理者に必要な資格一例】

- ◎ 1級土木施工管理技士
- ◎ 1級管工事施工管理技士
- ◎ 第一種安全衛生管理者
- ◎ 1級建築施工管理技士
- ◎ C A Dオペレーター1級
- ◎ 第一種電気工事士
- ◎ 1級ボイラ技士
- ◎ R S Tトレーナー

*その他、施工管理に必要な資格を取得